

日本教育史部門

「1950年代教育史」研究部会（第47回）

日時：2020年8月28日（金）13:00～

場所：オンラインで開催（Zoom使用）

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・川上智子

内容：（1）須田研究員：担当章 第2節・第3節の原稿検討

◆第2節「全国教育研究所連盟が推進した自治体立教育研究所の普及と展開」

- ・各地区教育研究所連盟の形成
- ・関東地区連盟の具体例
- ・法制化運動の展開
- ・都道府県五大教育研究所所長協議会の発足

◆第3節「国立大学附設教育研究所の事業とその展開」

- ・事業展開の概要
- ・1950年代に機関誌を発行していた国立大学の具体例
- ・1950年代における大学附設教育研究所の存立基盤

（2）大島宏研究員：担当章 第2節の原稿検討

◆第2節「山梨県における定時制分校の状況」

- ・定時制課程の発足
1948年新制高等学校制度発足
→県内に県立19校・市立2校・町立1校・組合立1校が開校（ほか私立3校）
同年定時制課程として本校13校・分校15校が開校、その後も増える
- ・1950年代の定時制課程
分校設置は地域の要望が大きく、1954年以降請願等がなくなると、分校の設置もなくなっていく
1955年以降は分校の廃止がはじまり、1960年代には急激に減少する
→全国的にも60年代に減少するが、山梨は早い時期から減少している

・次回研究会は、2020年10月2日（金）13:00～。鳥居研究員・西山研究員発表

・次々回 2020年11月6日（金）13:00～。米田研究員・須田研究員発表予定